

高知県日高村で トマト農家を 募集します！

募集人数：1名



相談→研修→就農までの流れ

就農相談

こうち
アグリスクール
(任意)

高知県立担い手育成セ
ンターでの「基礎研
修」(最低3ヵ月)

JA出資型法人また
は農家(親元)で
の実践研修

就農

私たちがお手伝いします



「JAコスモスハウス園芸部会」
就農前の研修や、就農後もサ
ポートしていきます。バーベ
キューやレクリエーション活動も
行っています。

支援制度(体制)

- 新規就農者や認定農業者を対象に「農業簿記講座」を毎月開催
- 研修期間中、最長2年間、国の支援制度あり(要件あり)
- 就農時、就農後、最長5年間国の支援制度あり(要件あり)
- 空き家の利用を希望される場合は、「日高村空き家バンク制度」があります。
- 農家子弟が農業研修を行う場合、農家に対して補助があります。(要件あり)

ストレスを与えながら時間をかけて栽培することで糖度の高いトマトを作ることができます。

日本で最初にトマト専用の糖度センサーを導入した「JAコスモス日高トマト選果場」で安定した商品が市場で高評価を得ています。



まずはお電話ください！

問い合わせ先： 日高村地域担い手育成総合支援協議会(日高村産業環境課)
TEL：0889-24-4647 E-mail：sangyou@vill.hidaka.kochi.jp
住所：高知県高岡郡日高村本郷61-1

先輩就農者の就農ストーリー

J Aがトマトハウス団地を整備するのをきっかけに就農。自己資金はほとんどなかったが、栽培に必要な設備がすべて整ったハウスを借りれたこと、機械類も親から借りることで就農できました。

就農前に1年間研修したものの、いざ一人でやろうとすると何をどうしていいのかわからない状態で栽培を始めました。就農後2~3年は栽培もうまくいかず、資金面でも苦労し、一時は離農も考えるほどでした。このままではダメだと思い、収量が取れている人のハウスに通い、肥料や水のやり方を聞き、理想の樹姿を目指して栽培するようになってから経営もよくなってきました。今は、所得が最低でも500万円確保できるよう経費面や販売面なども工夫しながらやっています。

成功のためには、毎年目標をたて、小さなことからコツコツやっていくことが大切です。農業は、自分の頑張りでなんとでもなる世界だと思います。



正岡 知也さん (37歳)

J Aコスモス日高支所ハウス園芸部会 副部会長
日高村出身。H13年に21歳で就農。妻とパートさん1名の合計3人で約25aのハウスでシュガートマトの栽培を行っています。

求める人材

(募集人数：1名)

- 農業に積極的に取り組む意欲のある方
 - 年齢が45歳未満の方で、就農後に日高村に住居できる方
 - 研修期間中必要な生活資金や当面の運転資金、ハウス等設備投資できる資金を準備できる方(自己資金1,000万円程度必要です)
 - 農業簿記の習得に努め経営のプロになること
 - 原則として、高知県立農業担い手育成センターでの基礎研修・その後は指導農業士の元で実践的な研修を受けていただける方(1~2年間)
 - 農家子弟
- ※その他、様々な要件等ありますので、まずはお相談ください。

日高村ってこんなところ



高知市から西に約16 km。人口約5000人の小さな村です。特産のトマトの他に、世界一薄い和紙を生産するなど、製紙業も盛んに行われています。

トマト農家の一年・栽培モデルデータ

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			収穫			片付け ・準備	定植				収穫

経営面積

30 a (3000㎡)

売上高

1400万円

支出合計

1150万円

所得

250万円

〈経営モデル〉

■ 10a当たり収量7,500kg/年

■ 1人当たり労働時間2,000h/年

■ 総労働時間5,000h/年

■ 家族労働力2人+パート1人